

気をつけよう！感染症

令和6年5月8日発行
松本市保健所保健予防課

松本市内の感染症流行状況（2024年4月29日～5月5日）

- ゴールデンウィークは天気が良く暑い日が続きました。体の疲れが出てくる頃ですので、体調管理が大切です。
- 春は行楽のシーズンです。おでかけの後や食品を取り扱う前の手洗いを、引き続き心がけましょう。

細菌やウイルスによる感染症に注意！！

胃腸炎症状が生じる主な感染症

【原因】

○細菌

下痢原性大腸菌(腸管出血性大腸菌など)、赤痢菌、コレラ、チフス、カンピロバクター、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、ウエルシュ菌、セレウス菌など

○ウイルス

ノロウイルス、ロタウイルスなど



【感染経路】

- 汚染された水や食品からの感染(いわゆる食中毒)
- 病原体が付着した手で口に触れることによる感染

【症状】

発熱、下痢、血便、腹痛、悪心、嘔吐など
無症状から重篤な合併症を起こし死に至るものまで様々です。

～ 感染を広げないために ～



①手洗いをしっかりと

食事の前、トイレの後など石けんでよく洗い流水で十分に流しましょう。

②食品からの感染を防ぐ

季節はずれの暑い日があるなど、急激に気温が上昇することがあります。食中毒予防のため、「つけない(清潔、洗浄)」「増やさない(迅速、冷却)」「やっつける(加熱)」の3原則を守りましょう。

③人からの感染を防ぐ

感染した人の便やおう吐物は速やかに処理して二次感染を防止しましょう。

おう吐物などの処理

おう吐物の処理方法の
動画はこちら→



基本は使い捨て手袋、エプロン、マスクを着用して、おう吐物などをペーパータオル等で静かにふき取り、塩素消毒後(次亜塩素酸ナトリウムを薄めた消毒液)、水拭きをします。換気をしながら作業をすることも大切です。